

千葉県 ネギ栽培におけるネバリン施用試験報告書

日本肥糧株式会社

- 1)試験目的 ネバリン施用がネギの生育に及ぼす効果の確認
- 2)調査日 2021年12月27日
- 3)調査場所 千葉県香取市府馬
- 4)農協・担当者名 JAかとり 山田経済センター S様
- 5)生産者 H 様
- 6)作物 ネギ(品種:夏扇タフナー チェーンポット2.5粒撒き、株間 5cm)
- 7)耕種概要 定植日:5月20日
基肥、追肥は慣行施用
対照区:ネバリン無施用 試験区:ネバリン100kg/10アール全面施用
- 8)調査方法 各区1ヶ所、1m間の根張りの様子の確認及び掘り取り調査を行った。
収穫物は本葉3枚を残して皮むき調整を行った
その後、JAかとり出荷規格を参考に規格別に集計した。

9)調査結果

表1. ネギの調査結果

		規格				合計	収量 (10アール換算)
		特2L	2L	L	M		
試験区	本数 ①	3	23	4	3	33	39,600
	調整重(kg) ②	0.91	5.37	0.56	0.27	7.11	8,532
対照区	本数 ③	3	16	6	0	25	30,000
	調整重(kg) ④	0.95	3.78	1.03	0	5.76	6,912
指数	本数 ①/③	100	144	67	—	132	
	調整重 ②/④	96	142	54	—	123	

※指数は対照区の値を100とした場合の試験区の数値

10)考察

試験区の方が畝内での根張りが良いように感じられ、細根の量も優っていた。(農協担当者同行)

収量調査の結果としては、試験区で本数、調整重ともに優位であり、2L品の割合が多かった。

ネバリン施用によって根張りが向上したことで欠株が抑えられ、収穫本数を確保することが出来たと考えられる。欠株が多い場合、1本当たりの重量が増すが、2L品で比較すると1本当たりの平均重量が両区で大差なく、試験区のネギの太りが良かったことがうかがえる。

これらの結果からネバリンを施用することで、根域に水溶化腐植が広がり根張りを促進し、肥料成分をより吸収しやすい状態で根に効率良く供給出来たと推測される。

よって、ネギの生育においてネバリンの施用は効果的であると考えられる。

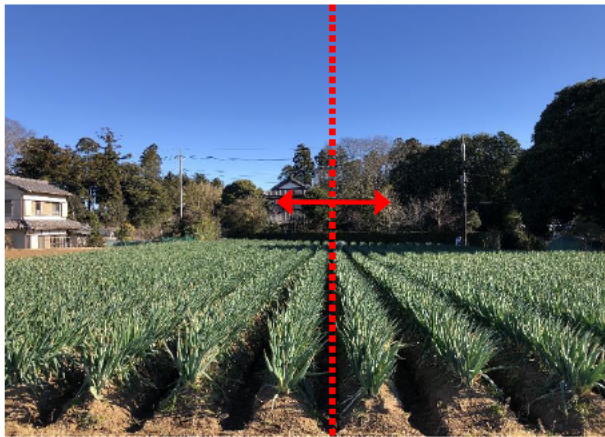


写真1. 圃場の様子
(左:試験区 右:対照区)



写真2. 収穫物の様子
(左:試験区 右:対照区)



写真3. 調整後の収穫物の様子
(試験区)



写真4. 調整後の収穫物の様子
(対照区)



写真5. 根張りの様子
(試験区)



写真6. 根張りの様子
(対照区)